

2009年度 研究助成の募集について（お知らせ）

私立大学図書館協会会長校
中央大学図書館
館長 古城 利明
研究助成委員会
委員長 甲野 浩史
(龍谷大学図書館)

私立大学図書館協会では、大学図書館の改善発達を図るための加盟校図書館員による研究・調査への支援として、研究助成を行っています。研究助成委員会では、下記のとおり募集いたします。

応募される方は、別紙応募要領を参照のうえ、応募用紙を会長校宛に提出してください。研究助成委員会で審査を行い、研究助成の可否を決定します。

今年度は、2009年度研究助成の募集を行います。

【研究助成規程について】

2006年度改正の新規程では、研究助成対象について、従来の「個人研究」、「共同研究」に加えて、新たに「機関研究」と「課題研究」を設定しています。また、「個人研究」「共同研究」の申込資格の在職年数はありません。(第4条)

さらに、研究期間も従来の単年度から最長3年間の複数年にわたる研究も可能となっています(年次研究計画書の提出要)。

- ※ 「機関研究」とは、従来、一大学図書館での業務の一環として行われるべき事例研究と判断されるものは助成対象から除外されていましたが、その研究成果が他の大学図書館および大学図書館全体の発展に寄与すると判断されるものについては、研究助成の対象とするというものです。
- ※ 「課題研究」とは、当協会として私立大学図書館全体の共通する事項について「課題」を設定し、募集を行うものです。応募は、個人、グループを問いません。

【応募の注意】

1. 「研究助成の審査にあたっての研究助成委員会および東西合同役員会での申し合わせ事項」を参照してください。(協会ホームページ・研究助成委員会参照)
2. 応募用紙(A:個人申込様式 B:共同研究申込様式 C:機関研究申込様式 D:課題研究申込様式)により申し込むこと(申込用紙は、協会ホームページからダウンロードできます)。
3. 研究助成を受けた場合、研究終了の翌年度の総会・研究大会で研究成果の発表をしていただきます。
4. 過去に研究助成を受けられた内容等は、協会ホームページ・委員会活動報告・研究助成委員会をご覧ください。

2009年度 研究助成応募要領

1. 募集対象

- (1) 個人研究：個人で研究課題を設定し応募するもの。
- (2) 共同研究：複数の図書館員により研究課題を設定し応募するもの。
- (3) 機関研究：一図書館又は複数図書館で研究課題を設定し応募するもの。
- (4) 課題研究：当協会が設定する課題について応募するもの。

2. 研究期間

- (1) 2009年度単年度
- (2) 2009年度から複数年度（最長3年）にわたるもの

3. 応募資格

- (1) 個人研究：当協会に加盟する大学の図書館員
- (2) 共同研究：当協会に加盟する大学の図書館員
- (3) 機関研究：当協会に加盟する大学の図書館長
又は、当協会に加盟する複数の図書館が参加する場合は、代表図書館の長
- (4) 課題研究：当協会に加盟する大学の図書館員、グループ及び図書館の長

4. 応募期間

2008年10月1日（水）～2008年12月12日（金）
（応募の予定がある場合は、事前に会長校にご連絡下さい。）

5. 提出書類

- (1) 申込書
- (2) 推薦書
- (3) 計画概要
- (4) 経費概算
 - 1) 算出根拠が分かるように詳細に作成すること。
 - 2) 経費概算が10万円以上の項目については、業者見積もりを添付すること。

6. 助成額および助成対象経費

- (1) 助成額
 - 1) 単年度の場合 上限 60万円
 - 2) 複数年の場合 合計120万円以内
- (2) 助成経費
助成経費については以下の項目を予定していますが、研究に直接必要な経費に限ります。
 - 1) 調査のための旅費
 - 2) 通信運搬費（郵便費、送料ほか）
 - 3) 謝金（講師謝礼、アルバイト雇用ほか）
申請する際には、事前に会長校事務局にご相談願います。
 - 4) 施設・設備使用料
 - 5) 印刷費
 - 6) 機器購入費（賃借料含む）
 - 7) 消耗品費（消耗品、図書購入費、複写費ほか）
 - 8) その他（委託費、データベース使用料ほか）

(3) 注意事項

- 1) 機器購入費も助成対象とする。ただし、20万円以上の機器については、購入ではなく賃借とする（賃借料を助成対象とする）。
- 2) 機器購入について、PC等汎用性のあるものは賃借により対応する。
- 3) 会合費は助成対象としない。
- 4) 研究期間が複数年度にわたり、年度別に支出が明確に分かれる費用については、年度単位で助成する。
- 5) 年度単位で、指定された期日（3月中旬）までに、支出報告を会長校に提出する。

8. 応募書類提出先及び問い合わせ先

〒192-0393

八王子市東中野742-1

中央大学図書館 気付

私立大学図書館協会会長校事務局

電話：042-674-2546（工藤） FAX：042-674-2547

Mail：skyokai@tamajs.chuo-u.ac.jp

以上

(A 個人申込様式)

年 月 日

私立大学図書館協会
会 長 校 殿

申込者名



私立大学図書館協会研究助成申込書

「私立大学図書館協会研究助成規程」による研究助成を得たく、下記および別紙のとおり、研究計画および図書館長の推薦書を添えて、申込みいたします。

記

1. 申 込 者
所属図書館
職 名
2. 研究の範囲
3. 研究テーマ
4. テーマ選択の理由ならびに研究計画概要
5. 研究期間 開始日
終了予定日
6. 補助又は貸与の別（貸与の場合は返還予定期日）※いずれかを○で囲んでください。
補助 貸与（返還予定期日 年 月 日）
7. 申請金額
8. 所要経費概要

科 目	摘 要	金 額
図 書 費		
印 刷 費		
旅 費		
雑 費		
計		

9. そ の 他

付 記 (1) 用紙はA4判

(2) 4および8の詳細は別紙により提出してください。

(B 共同研究申込様式)

年 月 日

私立大学図書館協会
会 長 校 殿

申込代表者名



私立大学図書館協会研究助成申込書

「私立大学図書館協会研究助成規程」による研究助成を得たく、下記および別紙のとおり、研究計画および申込代表者所属の図書館長の推薦書を添えて、申込みいたします。

記

1. 申 込 者

(氏 名)

(所属図書館名)

(職 名)

(1) 代 表 者

(2) 共同研究者

(3) 同 上

2. 研究の範囲

3. 研究テーマ

4. テーマ選択の理由ならびに研究計画概要および研究の分担について

5. 研究期間 開始日

終了予定日

6. 補助又は貸与の別（貸与の場合は返還予定期日）※いずれかを○で囲んでください。

補助 貸与（返還予定期日 年 月 日）

7. 申請金額

8. 所要経費概要

科 目	摘 要	金 額
図 書 費		
印 刷 費		
旅 費		
雑 費		
計		

9. その他

付記 (1) 用紙はA4判

(2) 4および8の詳細は別紙により提出してください。

(C 機関研究申込様式)

年 月 日

私立大学図書館協会
会 長 校 殿

申込代表者名



私立大学図書館協会研究助成申込書

「私立大学図書館協会研究助成規程」による研究助成を得たく、下記および別紙のとおり、研究計画書を付して申込みいたします。

記

1. 申 込 者

(氏 名)

(所属図書館名)

(職 名)

- (1) 代 表 者
- (2) 共同研究者
- (3) 同 上

2. 研究の範囲

3. 研究テーマ

4. テーマ選択の理由ならびに研究計画概要および研究の分担について

5. 研究期間 開始日
終了予定日

6. 補助又は貸与の別（貸与の場合は返還予定期日）※いずれかを○で囲んでください。
補助 貸与（返還予定期日 年 月 日）

7. 申請金額

8. 所要経費概要

勘定科目	摘 要	金 額
需 要 費		
図 書 費		
印 刷 費		
旅 費		
雑 費		
計		

9. その他

付記 (1) 用紙はA4判

(2) 4および8の詳細は別紙により提出してください。

研究助成 応募用紙（課題研究）

2007年度はアウトソーシングをテーマに、図書館にとって厳しい環境において、外部資源を活用して図書館のサービスを向上させるために、アウトソーシングの現状分析や解決策（プロトタイプモデル）の提示・提言を含めて、多様な視点からの実態調査、分析、事例研究を募集いたしました。

今回は2008年度、2009年度の2年間に共通の課題を設定して、加盟館ならびに図書館員が十分に準備できる体制を整えるとともに、課題研究テーマについても、統一テーマのもとに3つの分野を提示し、その中で様々な問題について自館の現状認識を踏まえた実態調査、分析等を実施しうるように、具体的な研究テーマについても例示いたしました。研究を通じて、他館にとってもそれぞれ自館の位置付けと今後の展望の参考となるような研究を期待します。

以下の課題の中から研究テーマを定め研究計画を策定し、応募してください。

「課題研究」の進め方について

1. 課題研究については、「個人」、「グループ」、「機関」のいずれの研究形態でも応募することができます。
2. 個人で応募される場合は、研究したい内容を決めて応募してください。同一内容の応募があった場合は、共同研究をお願いする場合があります。
3. グループまたは機関で応募される場合は、研究代表者を定めて応募してください。
4. 研究助成額等は、他の研究助成と同様です。
5. 個人、グループでの応募にあたっては、あらかじめ所属機関の了解を得ておいてください。

課題研究

統一テーマ「図書館の現在と未来 － 自館の位置と今後の展開 －」

[図書館経営管理部門]

1. アウトソーシング

各大学図書館のアウトソーシングの実態（範囲、業務内容、レベル等）を分析し、図書館の規模や導入業務との関係を明確にしてアウトソーシングの効果と今後のあり方を考察する。

2. デジタル化と図書館予算

急速なデジタル資料の普及と図書館予算におけるデジタル資料の取り扱いについて、各図書館の実態調査に基づき、大学の予算における図書館予算のありかたを考察する。

3. 図書館員の再教育問題（L-ラーニング）

委託化が進む状況において、図書館員のブラッシュアップをいかにするか、L-ラーニングの手法の調査、分析および実践的な事例研究とシステム構築の可能性について考察する。

[情報リテラシー部門]

1. パスファインダーの実践的研究

パスファインダーの効果と活用について、実施例の調査から他大学の作成において参考となるような提案を行う。

2. グーグル世代における情報リテラシーのあり方

グーグルのようにデジタル情報検索が容易に行える状況における情報リテラシー教育のあり方と教育方法について、実践的な事例研究を行い他大学の参考となるプログラムを提案する。

[図書館評価部門]

1. 資料のデジタル化と蔵書構成のあり方

蔵書構築とデジタル資料の収集保存について、各大学図書館の事例を調査するとともに、将来の蔵書構成への提言を行う。

(D 課題研究申込様式)

年 月 日

私立大学図書館協会
会 長 校 殿

申込代表者名



私立大学図書館協会研究助成申込書

「私立大学図書館協会研究助成規程」第4条第4号の課題研究による研究助成を得たく、下記および別紙のとおり、研究計画を付して、申込みいたします。

記

1. 申 込 者

(氏名)

(所属図書館名)

(職 名)

- (1) 代 表 者
- (2) 共同研究者
- (3) 同 上

2. 課 題

3. 研究テーマ (標題)

4. テーマ選択の理由ならびに研究計画概要および研究の分担について

5. 研究期間 開始日
終了予定日

6. 補助又は貸与の別 (貸与の場合は返還予定期日) ※いずれかを○で囲んでください。
補助 貸与 (返還予定期日 年 月 日)

7. 申請金額

8. 所要経費概要

科 目	摘 要	金 額
図 書 費		
印 刷 費		
旅 費		
雑 費		
計		

9. その他

付記 (1) 用紙はA4判

(2) 4および8の詳細は別紙により提出してください。